



TITLE:

編集後記・編集委員・購読要項・  
投稿内規

AUTHOR(S):

---

CITATION:

編集後記・編集委員・購読要項・投稿内規. 泌尿器科紀要 1976, 22(1):  
80-80

ISSUE DATE:

1976-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/121904>

RIGHT:

## 編 集 後 記

。「泣きつつらに蜂」といいます。印刷会社の火事による影響で発行が遅れ、それを取りもどすのにやっきになっていたところへ、今度は本誌担当の同社職員の病気と事故が重なってしまいました。講読者および投稿者にお詫び申し上げます。従来のペースで発行できるよう努力しており、まもなくそうなることと思います。

。本号より表紙に目次を印刷する様式にもどしました。その方が便利だとの読者の声が多かったからです。

(O. Y.)

## 編 集 委 員

石 神 襄 次      前 川 正 信      宮 崎 重      新 谷 浩  
園 田 孝 夫      友 吉 唯 夫 (副主幹)      吉 田 修 (主 幹)

## 購 読 要 項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料 5,000 円(送料とも)前納していただきます。  
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限ります。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間18ドルです。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

## 投 稿 内 規 (1969年1月改正)

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は 400 字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。  
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけてください。翻訳の実費は申し受けます。
4. 英文原稿の場合はタイプで2行の間隔をあげ、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, pH などを使用し、は不要です。また BUN IVP NPN PSP TUR なども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。  
A 雑誌の場合 著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 西暦年次。(論文題名は自由です)  
文献名は正式略称を用いてください。  
例: 日泌尿会誌, 臨床皮泌, 皮と泌, 泌尿紀要, 臨泌; J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。  
B 単行本の場合 著者氏名: 書名, 版数, Vol. 数, p. 数, 発行所, 出版地, 年次。
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付けはいたしません。
11. 原稿送り先は、〒606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部、書留便。

---

泌尿器科紀要 第22巻 第1号	1976年1月25日 印刷	1976年1月31日 発行
創刊 稲田 務	顧問 加藤 篤二	定価 500 円(送料別)
発行 吉田 修	発行所 泌尿器科紀要編集部	
〒606 京都市左京区聖護院川原町54	京都大学医学部泌尿器科学教室内	電話(075)751-3327(直通)
	印刷所 山代印刷株式会社	京都市上京区寺之内通小川西入

---